



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ソフィアホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6942 URL <https://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 秀毅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 元彦 TEL 03-6381-5405
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,145	△2.8	78	△89.8	83	△88.9	36	△84.4	36	△84.4	34	△85.4
2025年3月期第3四半期	6,320	—	769	—	752	—	234	—	234	—	234	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2026年3月期第3四半期	7.88		—									
2025年3月期第3四半期	51.22		50.98									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,911	3,062	3,062	44.3
2025年3月期	7,457	3,028	3,028	40.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,342	△0.2	189	△45.2	170	△47.2	93	△2.4	93	△2.4	19.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,677,720株	2025年3月期	4,677,720株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	49,050株	2025年3月期	49,040株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	4,628,677株	2025年3月期3Q	4,572,251株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(要約四半期連結損益計算書)	5
(要約四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報)	7
(親会社の所有者に帰属する持分に著しい変動があった場合の注記)	8
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しているものの、継続する物価上昇の個人消費への影響や米国の通商政策を含む国際情勢の不安定等の影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動を展開するインターネット関連事業及び通信事業におきましては、企業の競争力強化や業務効率化を目的としたDX(デジタル・トランスフォーメーション)推進の動きが加速していることにより、ICT(情報通信技術)への投資需要は引き続き高い状態にあります。また、調剤薬局及びその周辺事業におきましては、薬価改定・調剤報酬改定による影響もあり、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績としましては、売上収益が6,145百万円(前年同四半期比2.8%減)となりました。利益面におきましては、営業利益78百万円(前年同四半期比89.8%減)、税引前四半期利益83百万円(前年同四半期比88.9%減)、四半期利益36百万円(前年同四半期比84.4%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益36百万円(前年同四半期比84.4%減)、四半期包括利益合計額34百万円(前年同四半期比85.4%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

売上収益は、企業のデジタル変革(DX)への取り組みなどを背景に、ITエンジニアの需要が高まっていること及びインターネット関連のシステム開発も順調に推移しました。しかしながら、前期における子会社1社の売却の影響を受けた結果、売上収益は812百万円(前年同四半期比19.3%減)、セグメント利益は38百万円(前年同四半期比40.6%減)となりました。

[通信事業]

MVNO(※1)事業は競業他社との競争激化の影響を受けることとなりましたが、売上収益は174百万円(前年同四半期比57.3%増)、セグメント利益は21百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント損失)となりました。

[調剤薬局及びその周辺事業]

売上収益は、調剤報酬の改定、薬価改定による影響及び処方箋枚数減少の影響を受け減収となりました。利益面では、上記売上減の影響及びコスト増加により減益となりました。その結果、売上収益は5,185百万円(前年同四半期比0.6%減)、セグメント利益は402百万円(前年同四半期比14.8%減)となりました。なお、当第3四半期連結会計期間の末日において当社グループにおける調剤薬局総数は59店舗となります。

[その他]

その他事業につきましては、国内及びアジア圏内において新規事業を継続して進めております。その結果、売上収益0百万円(前年同四半期比97.4%減)、セグメント損失9百万円(前年同四半期は36百万円のセグメント損失)となりました。

(※1) Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で無線通信回線設備を持たず、他の移動体通信事業者から借りてあるいは再販を受けて移動体通信サービスを提供する事業者。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ546百万円減少し、6,911百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ580百万円減少し、3,848百万円となりました。これは主として、社債及び借入金の減少によるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分合計は前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、3,062百万円となりました。これは主として、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月15日に公表いたしました予想と変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,747,381	1,844,180
営業債権及びその他の債権	1,144,397	1,228,092
棚卸資産	550,677	562,651
未収法人所得税	1,574	110,542
その他の金融資産	9,429	9,563
その他の流動資産	57,136	21,964
小計	4,510,597	3,776,994
流動資産合計	4,510,597	3,776,994
非流動資産		
有形固定資産	313,070	382,658
使用権資産	511,975	601,904
のれん	1,775,791	1,805,371
無形資産	11,780	12,709
その他の金融資産	133,007	147,466
繰延税金資産	194,397	172,904
その他の非流動資産	6,998	11,284
非流動資産合計	2,947,021	3,134,299
資産合計	7,457,618	6,911,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,734,822	1,781,864
社債及び借入金	768,399	448,515
リース負債	117,682	117,191
未払法人所得税	192,125	8,393
引当金	55,476	59,552
その他の金融負債	33	2,062
その他の流動負債	62,332	132,800
小計	2,930,873	2,550,381
流動負債合計	2,930,873	2,550,381
非流動負債		
社債及び借入金	892,710	624,708
リース負債	535,675	583,170
引当金	51,560	68,026
その他の金融負債	6,838	9,686
繰延税金負債	342	342
その他の非流動負債	11,010	12,183
非流動負債合計	1,498,138	1,298,117
負債合計	4,429,011	3,848,499
資本		
資本金	2,065,855	2,065,855
資本剰余金	11,621	11,621
利益剰余金	1,013,191	1,049,685
自己株式	△62,264	△62,276
その他の資本の構成要素	203	△2,091
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,028,607	3,062,794
資本合計	3,028,607	3,062,794
負債及び資本合計	7,457,618	6,911,294

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	6,320,591	6,145,642
売上原価	3,965,666	3,924,360
売上総利益	2,354,925	2,221,281
販売費及び一般管理費	2,115,891	2,156,866
その他の収益	531,054	15,566
その他の費用	632	1,160
営業利益	769,456	78,820
金融収益	3,119	22,310
金融費用	20,110	17,555
税引前四半期利益	752,464	83,575
法人所得税費用	518,275	47,081
四半期利益	234,189	36,494
四半期利益の帰属 親会社の所有者	234,189	36,494
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	51.22	7.88
希薄化後1株当たり四半期利益	50.98	—

(注) 当第3四半期連結累計期間の希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	234,189	36,494
その他の包括利益		
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	107	△2,294
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	107	△2,294
税引後その他の包括利益	107	△2,294
四半期包括利益	234,296	34,199
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	234,296	34,199
四半期包括利益	234,296	34,199

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(要約四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に基づき、国際会計基準第34号「期中財務報告」の開示を一部省略している。)に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは持株会社体制の下、各事業会社が各々の事業活動を行っており、当社はグループの経営戦略の策定やグループ管理を行っております。従って、当社グループは、各事業子会社を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「インターネット関連事業」、「通信事業」、「調剤薬局及びその周辺事業」の3つを報告セグメントとしております。

「インターネット関連事業」は、インターネット関連のシステム開発業務サービスの提供、システムエンジニアリングの派遣サービスの提供等を行っております。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるソフィア総合研究所株式会社が、株式会社セキュリティーエージェントを子会社化したことに伴い、同社を「インターネット関連事業」に区分して開示しております。

「通信事業」は、MVNOを中心とした情報通信サービスを行っております。

「調剤薬局及びその周辺事業」は、主に調剤薬局の運営を行っております。

「その他」は国内及びアジア圏内において新規事業を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりであります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	インター ネット関連 事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計				
売上収益								
外部収益	1,000,157	102,767	5,208,039	6,310,964	9,627	6,320,591	—	6,320,591
セグメント間 収益	5,547	8,222	6,663	20,433	—	20,433	△20,433	—
合計	1,005,705	110,989	5,214,703	6,331,398	9,627	6,341,025	△20,433	6,320,591
セグメント利益又は 損失(△) (注) 3	64,459	△5,216	472,251	531,494	△36,983	494,511	274,944	769,456
金融収益								3,119
金融費用								20,110
税引前四半期利益								752,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントあり、人材紹介事業等を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、関係会社株式売却益512,879千円、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注) 3. セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	インター ネット関連 事業	通信事業	調剤薬局 及びその 周辺事業	計				
売上収益								
外部収益	803,993	162,228	5,179,170	6,145,392	250	6,145,642	—	6,145,642
セグメント間 収益	8,059	12,389	6,300	26,749	—	26,749	△26,749	—
合計	812,052	174,617	5,185,470	6,172,141	250	6,172,391	△26,749	6,145,642
セグメント利益又は 損失(△) (注) 3	38,309	21,754	402,280	462,344	△9,432	452,912	△374,091	78,820
金融収益								22,310
金融費用								17,555
税引前四半期利益								83,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注) 3. セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(親会社の所有者に帰属する持分に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及び償却費	127,839	106,039

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、2025年11月26日開催の取締役会において、株式会社アビメディカルが運営する調剤薬局事業の一部を当社の連結孫会社である株式会社アルファメディックスが譲り受けることに関する事業譲渡契約書を締結することを決議し、2026年2月1日付で下記の通り実行しております。

(1) 事業譲受の概要

- ①相手先企業の名称及びその事業の内容
譲受企業の名称 株式会社アビメディカル
事業の内容 調剤薬局事業の一部

②事業譲受の主な理由

当社グループの調剤薬局及びその周辺事業につきましては、薬剤師の person 費高騰及び調剤報酬の改定、薬価改定等将来にわたる懸念材料がある中で、当社グループでは調剤店舗数の増加による収益向上及び店舗運営の合理化による収益率の向上を継続して取り組んでまいりました。この取り組みの一環として連結孫会社である株式会社アルファメディックスを通じて株式会社アビメディカルとの事業譲渡契約を締結することといたしました。

株式会社アビメディカルの調剤薬局事業におけるやすらぎ薬局近江八幡店の1店舗を譲り受けの対象といたします。対象店舗は、当社の連結孫会社である株式会社アルファメディックスにおいて調剤薬局として運営していく予定です。

③取得日

2026年2月1日

④事業譲受の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(2) 取得日現在における支払対価、取得資産及び引受負債の公正価値

(単位：千円)

	金額
支払対価（現金）の公正価値	131,000

取得資産及び引受負債の公正価値及びのれんについては、現時点において確定しておりません。

(3) 取得関連コスト

本件事業譲受に係る取得関連コストは、21,383千円であり、すべて要約四半期連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に計上する予定です。

(4) 当社グループの業績に与える影響

現時点では確定しておりません。